

ダニ媒介性感染症から (SFTS、日本紅斑熱など)

# 自分と家族を 守るために

一般市民向け  
国立病院機構相模原病院  
感染管理部 作成



2026年4月作成

# 楽しい時間の裏に

キャンプ、ハイキング、ガーデニング  
自然とのふれあいは、かけがえのない時間

しかし、その草むらには  
病気を運ぶ存在が潜んでいるかもしれません



# あなたが知るダニとは違う

家の布団やカーペットにいるダニとは、全くの別物です  
問題となるのは、屋外の野山や草むらに生息する大型のダニ



家庭のコナダニなど



屋外のマダニ類

# 主な媒介者たち

マダニ類

固い外皮を持ち、吸血すると大きく膨らむ  
SFTSや日本紅斑熱を媒介



ツツガムシ類

非常に小さく、肉眼での発見は困難  
つつが虫病を媒介



# 最も警戒すべき脅威：SFTS

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

ウイルスを持つマダニに噛まれて感染

主な症状：発熱、嘔吐、下痢、腹痛

大切なペットから感染する事例も報告されています

# 致死率 約10～30%



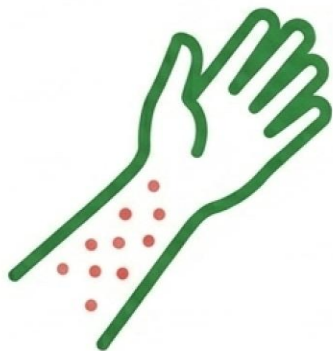
# 見逃してはいけないサイン：つつが虫病・日本紅斑熱

特徴的な「三徴候」が現れます

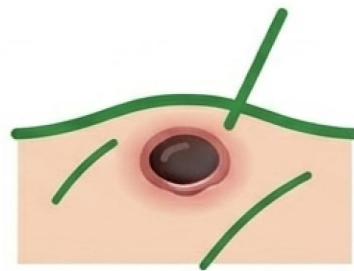
早期発見と適切な抗菌薬治療が回復の鍵です



1 高熱



2 発疹（赤いブツブツ）



3 刺し口（黒いカサブタ）

# そのカサブタ、ただの傷ですか

診断の決め手となる「刺し口」

痛みやかゆみが無いことが多く、  
気づきにくいのが特徴

黒く焦げたような見た目

脇の下、足の付け根、下腹部など  
柔らかい場所を好みます



# 最大の防御は「噛まれないこと」

ここからは、わたしたちができる  
防御策の話です

最も効果的な戦略は、そもそも敵  
に接触させないこと



# 防御の基本：服装という「鎧」

- 肌の露出を徹底的に避ける
- 首：タオルやハイネックで覆う
- 上半身：長袖を着用、袖は手袋に
- 下半身：長ズボンを着用、裾は靴下や長靴に
- 足元：サンダルは厳禁、足を完全に覆う靴を



# 帰宅後の約束ごと

家に入る前に、服をよく払う

帰宅後すぐに着替え、シャワーや入浴を

髪の毛から足先まで、全身にダニが付いていないか確認



# 大切な家族（ペット）を守る

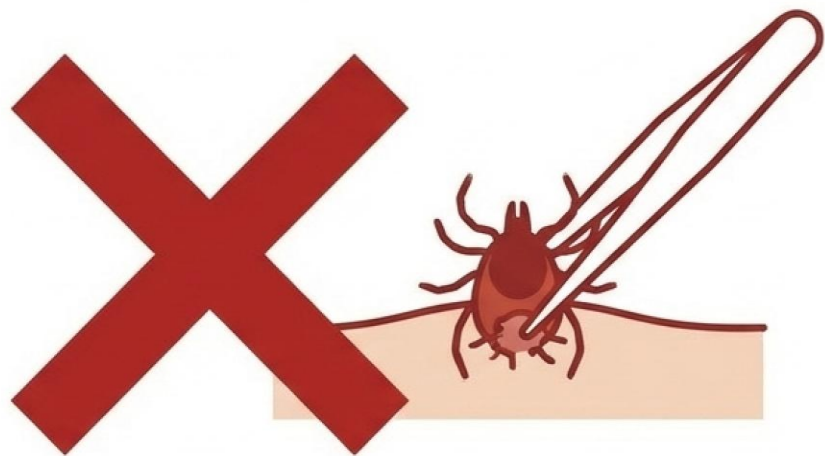


- 散歩の後は、目の細かいクシで体をチェック
- 動物病院でダニ駆除薬の相談を
- 過剰なふれあい（口移しなど）は避ける
- ペットに触れた後は、必ず手洗い



# もし、噛まれてしまったら

絶対に、自分で無理に引き抜かないでください  
ダニの口が皮膚に残り、体液が逆流する危険があります  
慌てず、皮膚科などの医療機関で除去してもらいましょう



## 医師へ伝えるべき「合言葉」

噛まれた後、数日から2週間は体調の変化に注意  
発熱などの症状が出たら、すぐに医療機関へ  
そして、必ずこう伝えてください

**「野山に行きました。ダニに  
噛まれたかもしれません」**

# 重要な3つのステップ

1



肌を露出しない服装で  
「防ぐ」

2



帰宅後は全身をチェック  
して「見つける」

3



症状があればすぐに  
受診し「伝える」

# 正しく恐れて、安全に楽しむ

ダニ媒介感染症は、正しい知識があれば防げる病気です  
この物語の主人公は、あなた自身です  
これからも、自然と共に素晴らしい時間を



# 参考資料

## 厚生労働省

- ・ つつが虫病について
- ・ 日本紅斑熱について
- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

## 国立健康危機管理研究機構（JIHS） 感染症情報提供サイト

- ・ つつが虫病
- ・ リケッチア症
- ・ 日本紅斑熱
- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

## 日本感染症学会

- ・ ツツガムシ病（Scrub typhus） | 症状からアプローチするインバウンド感染症への対応 - 感染症クイック・リファレンス」

## 神奈川県

- ・ ペットの重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について